

## 作詞家・松本 隆

この夏、松本 隆／作詞活動45周年「風街レジェンド」を東京で見た。目的は、大滝詠一亡き後の「はっぴいえんど」松本隆・細野晴臣・鈴木茂再集結をこの目で見ること。

この目で初めて見た「はっぴいえんど」は、おじいちゃんになっておりました。同じくおじいちゃんになった僕は、それほど好きでもなかった「風をあつめて」を聴いて涙が溢れて困りました。

風をあつめて  
風をあつめて  
蒼空を翔たいんです  
蒼空を

「蒼空」も「翔る」も、僕は使えないなあとと思う。参ったなあとと思う。圧倒的に作詞家なのだ、手も足も出ないのだと、今頃になって気づかされた。(達)



## Cee's Watching Gallery

パバスタスタのメンバーをなんと割り箸で描いた渾身の作。パバストアに飾ってあるので実物を是非ご覧あれ！

# PAPA'S STYLE.05

  
PaPa's style vol.5  
2015.12.12発行  
編集：パバスタスタ/パバ  
発行所：本の部屋

## Lyrics パバスタスタの歌詞をご紹介します

### Gumbo lyric by Tatsuya Hyuga

コバルト・ブルーの ボトル・ツリーが見えるかい  
俺らの住んでる おんぼろショットガン・シャック  
Route49&61 あそこが噂のクロスロード  
あいつが言うには 悪魔が佇む

Monday (働け 働け)  
Tuesday (働け Wednesday)  
Thursday (働け 働け)  
Friday (Saturday)

Gumbo Gumbo 土曜の夜はガンボ  
Gumbo Gumbo 朝まで騒ごうぜ  
Gumbo Gumbo 土曜の夜はガンボ  
Gumbo Gumbo 週に一度はガンボ

綿摘み暮らし 歌うはフィールド・ホラーズ  
クラークスデールじゃ 朝から晩まで だけど  
今日は土曜日 ジョーク・ジョイントに集まれ  
ベッドとビールと あの娘がいれば天国

### 用語解説

- ガンボ**: オクラまたはフィレ・パウダーでとろみを付けたアメリカ南部の一般的なスープ料理の総称。
- ボトル・ツリー**: 青い空き瓶を木にさした黒人たちの魔除けの風習
- ショットガン・シャック**: ショットガンで打ち抜けるほど薄っぺらな小作人の住居
- クロスロード**: ブルースマン「ロバート・ジョンソン」が、ルート49と61の交差する十字路で、ギターを腕とひきかえに自分の魂を悪魔に売り渡したという伝説の地。
- フィールド・ホラーズ**: プランテーションで作業する黒人奴隷達が歌った労働歌。ブルースの原型と言われている。
- クラークスデール**: ミシシッピ川流域の棉花栽培地帯の中心地。
- ジョーク・ジョイント**: 黒人達が集まる居酒屋兼ギャンブル場。白人達の「ホンキートンク」には、黒人は入れなかった。

### 参考文献:

ジェームス・M・バーダマン著『わが心のディーブサウス』

## Show Boat lyric by Tatsuya Hyuga

僕らの住んでる町の 波止場はいつも  
ツインシティーからメキシコ みんな集まってくる

ミシシッピー・リバーを走る 船はいつもすし詰め  
黒い煙と 色とりどりの人

ヨー ソロー  
取り舵いっぱい船長さん  
ヨー ソロー  
みんなの憧れ 進めニューオーリンズ

夜になればショータイム デッキに練り出せ  
マリアッチにデキシerland 聖者も踊るよ

バーボンストリートに着けば 誰も眠らない  
真っ赤な火炎を 夜空に吹き上げ

ヨー ソロー  
取り舵いっぱい船長さん  
ヨー ソロー  
目指すは 夢のセントルイス

▲2005年8月末にアメリカ南部を襲ったハリケーン・カトリナが、音楽の聖地ニューオーリンズに壊滅的な被害をもたらした。敬愛するサッチモ(レイ・アームストロング)が感化院で初めてコルネットを手にし、出所後、リバーボートに乗ってミシシッピー河の沿岸を流すフェイト・マラブル楽団で働いていた頃のイメージをベースに、憧れの地の復興を願って作った。

ジャズやブルースに代表される輝かしいアメリカン・ミュージックの礎を作ったのは、皮肉な事に人種差別なのだと思う。8年ほど前に作ったこの2曲は、その音楽が生まれた時代の情景を物語にしたものだ。「音楽はお陽様のような。全ての人に光を与えてくれる。」  
黒人達は生活の中に音楽を見いだした。白人達のように着飾って、豪華な遊覧船で川下りを楽しむ事は出来ないけれど、せめて土曜の夜くらいは温かいスープとビールで乾杯しようぜ!